



事務局報

2019年1月1日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／廣瀬 智人
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

年頭のご挨拶

気が付く人

新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

企業内教育や研修は、各企業で特徴があるものです。しかし、社会人としての教養、マナー、コミュニケーション能力など、健全な企業であれば共通するテーマも多いものです。

この共通するテーマのひとつとして、「気が付く人」の養成はいかがでしょうか。果たして、「気が付く人」を養成するための研修はあるのでしょうか。

一部の職業等を除いては、どのような仕事でも、“気が付いて欲しい”場面は多々あります。少し気を回せば気が付くはずのことや、少し考えれば理解される事柄など、人事・研修のご担当者に限らず、およそ上司や先輩と呼ばれる方々であれば、多々“気が付いて”おられるものと思われま

す。これは、多分に個人の素養にも関係してくるのかも知れません。

この場合の素養とは、たとえば新人であれば、家庭内教育や学校等での団体活動、学生時代のアルバイト先での人間関係など、人と人との間で自ずと醸成されるものの一部と捉えることができま

す。もちろん、個々人に元々備わった性格や気質なども含まれるのでしょ

う。素養は、上司や先輩の指導、顧客との関係などの、他者との摩擦や軋轢等から、何かを身に付けようとする自意識が無ければ、自らの教養や知恵、技術にはなりません。そのような自意識が無ければ、ただの「嫌な体験」であったり「思い出したくない過去」でしかありません。

学ぼうとする自意識が無ければ、素養とはならないのだと考えます。

他者との間で生じた摩擦や軋轢、葛藤を通じて、「人はそのように考えるのだな」といった他者の考え方を学び、あるいは他者に対する配慮が生まれるように思えます。

これらの学習を通じて「気が付く人」が形成されるのではないのでしょうか。

昨今、気が付くことを揶揄する傾向があるように感じるがありますが、これは、社会や企業にとって好ましいことではないと思います。

企業内教育や研修の場においては、即戦的・即効的な内容のものが好まれるのは致し方ありませんが、時には、“気が付く人”の養成も必要なのではないかと考えてみた次第です。

銀行業務検定試験は、金融機関における人材育成の一助としてご活用いただいております。本年も倍旧のお引立てを賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

主要項目

- ▶ 年頭のご挨拶
- ▶ 〈第141回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 団体賞受賞団体を訪ねて
- ▶ 都道府県別合格率ランキングのご紹介
- ▶ 3月試験のご案内

〈第 141 回〉銀行業務検定試験成績発表

外国為替3級、預かり資産アドバイザー2級が好成績

去る平成 30 年 10 月 28 日（日）に実施した、第 141 回銀行業務検定試験の成績結果は下掲のとおりです。

■法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数 5,790 名中受験者は 4,771 名で、合格者は 1,055 名でした。合格率 22.11%、平均点 38.98 点で、ともに前回を下回りました。

最高点は 82 点で、山田浩之さん（大阪府医師信用組合）、兼松拓己さん（四国労働金庫）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点をみていくと、〈預金〉の分野では、〔問題-1〕取引時確認における留意事項の問題が、4.79 点となっています。F A T F の対日相互審査前の時期であるため、学習している方が多く高い平均点となることが予想されましたが、低いものとなりました。〔問題-2〕預金の相続の問題は 5.19 点となりました。相続の問題と考えると低い結果であり、最高裁で預金は遺産分割協議の対象となるという決定がなされた部分が論点であったためか、対応できていない受験者が少なからずいたようです。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-4〕手形の記載の効力が 4.13 点、〔問題-5〕盗難手形

の取扱いが 4.58 点、〔問題-6〕電子記録債権が 3.58 点となっており、全般的に低い結果となりました。手形・小切手の取扱いが減少傾向にあるなか、苦手とされる受験者が多くなっているように感じられます。

〈融資〉の分野では、〔問題-7〕制限行為能力者との取引が 2.88 点、〔問題-8〕取引先の相続と債務が 3.27 点、〔問題-9〕貸金等根保証契約が 3.68 点、〔問題-10〕融資取引先の合併が 2.15 点となっています。〈融資〉の分野は平均点が低くなる傾向にあります。論点が難しいということのほかに、解答時間が足りなくなることも要因として考えられます。1 題あたり 18 分ですので、時間配分も意識して学習してください。

法務2級試験は記述式ですので、学習にはインプットとアウトプットの作業が必要となります。アウトプットの訓練で重要なのは、書いてみることです。その際は、法的三段論法を意識することが、効果的な方法の 1 つです。

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおり

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

（合格点は 50 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	192	2,069	181	338	1,822	154	166	75	1	0	6	786	5,790
応募比率	3.32	35.73	3.13	5.84	31.47	2.66	2.87	1.30	0.02	0.00	0.10	13.58	100.00
受験者数	175	1,758	122	256	1,601	121	143	64	1	0	4	526	4,771
受験率	91.15	84.97	67.40	75.74	87.87	78.57	86.14	85.33	100.00	0.00	66.67	66.92	82.40
合格者数	64	408	34	51	228	17	56	15	1	0	1	180	1,055
合格率	36.57	23.21	27.87	19.92	14.24	14.05	39.16	23.44	100.00	0.00	25.00	34.22	22.11
平均点	43.70	39.69	39.69	36.73	36.44	34.52	44.44	38.00	60.00	0.00	34.50	43.34	38.98
年齢	25.6	32.1	33.8	37.1	36.3	38.9	35.7	33.0	32.0	0.0	42.0	34.1	34.1
勤続年数	2.4	9.2	9.0	13.4	13.6	15.5	13.3	10.1	8.0	0.0	18.3	10.4	11.1

です。

応募者数 25,825 名中受験者は 23,107 名で、合格者は 7,683 名でした。合格率は 33.25%、平均点は 51.83 点で、ともに前回（2018 年 6 月）をわずかに下回りました。

最高点は 96 点で、田口智子さん（城北信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈預金〉の分野では〔問－3〕偽造・盗難カード預貯金者保護法（18.38%）の 1 問、〈融資〉の分野では〔問－18〕譲渡担保（13.26%）、〔問－22〕相殺（11.88%）、〔問－23〕債務引受（24.74%）の 3 問、〈決済〉の分野では〔問－40〕電子記録債権と手形の相違（18.99%）の 1 問、〈銀行取引関連法〉の分野では〔問－44〕民法上の委任（8.81%）、〔問－46〕制限行為能力者（29.74%）、〔問－47〕株式会社の機関（25.52%）の 3 問で、計 8 問でした。

とくに正解率が低かった〔問－44〕は、民法上の委任（民法 643 条以下）について基本的事項

を問うものでした。委任契約が成立すると、受任者は、自己のためにするのと同じの注意義務が要求されるのではなく、委任の本旨に従い、善良な管理者の注意をもって、委任事務を処理する義務を負うこととなります（同法 644 条）。当座勘定取引契約など銀行取引においては委任契約の性質を有するものがありますので、民法の条文を参照しつつ委任の基本的性質をあらためて確認してください。

法務 4 級

「法務 4 級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数 3,583 名中受験者は 3,335 名で、合格者は 2,125 名でした。合格率は 63.72%、平均点は 64.50 点で、ともに前回を下回りました。

最高点は 98 点で、瀬羅希望さん、山村倫太郎さん（以上、大阪厚生信用金庫）、山本和弘さん、中村正識さん（以上、播州信用金庫）、石丸日奈子

〔表－2〕法務 3 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	957	8,352	684	2,576	6,096	1,273	2,099	715	10	15	245	2,803	25,825
応募比率	3.71	32.34	2.65	9.97	23.61	4.93	8.13	2.77	0.04	0.06	0.95	10.85	100.00
受験者数	918	7,716	563	2,270	5,558	1,117	1,955	621	8	11	210	2,160	23,107
受 験 率	95.92	92.39	82.31	88.12	91.17	87.75	93.14	86.85	80.00	73.33	85.71	77.06	89.48
合格者数	637	2,757	289	597	1,486	247	569	183	6	7	57	848	7,683
合 格 率	69.39	35.73	51.33	26.30	26.74	22.11	29.10	29.47	75.00	63.64	27.14	39.26	33.25
平均点	64.94	53.05	58.56	49.51	49.17	47.48	49.49	50.76	64.50	62.18	49.42	54.30	51.83
年 齢	23.8	25.7	29.7	27.1	27.3	29.4	34.2	30.7	40.3	34.5	38.1	30.9	27.9
勤続年数	0.7	2.8	5.6	4.3	4.9	6.8	11.0	5.2	9.4	2.0	14.3	6.7	4.7

〔表－3〕法務 4 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	18	253	0	437	1,291	413	746	148	0	2	1	274	3,583
応募比率	0.50	7.06	0.00	12.20	36.03	11.53	20.82	4.13	0.00	0.06	0.03	7.65	100.00
受験者数	18	238	0	408	1,212	395	691	139	0	2	1	231	3,335
受 験 率	100.00	94.07	0.00	93.36	93.88	95.64	92.63	93.92	0.00	100.00	100.00	84.31	93.08
合格者数	16	149	0	263	873	229	309	116	0	0	0	170	2,125
合 格 率	88.89	62.61	0.00	64.46	72.03	57.97	44.72	83.45	0.00	0.00	0.00	73.59	63.72
平均点	76.33	64.02	0.00	63.89	67.45	61.98	58.17	71.19	0.00	51.00	34.00	69.08	64.50
年 齢	23.1	24.5	0.0	23.4	24.3	23.2	27.4	27.3	0.0	20.5	47.0	30.4	25.2
勤続年数	0.5	1.6	0.0	0.9	2.1	1.3	4.6	1.3	0.0	0.0	22.0	5.1	2.5

さん（愛媛県農業信用基金協会）、柴田瞳さん（個人申込）の6名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が40%以下となった問題は、次のとおりです。

〈預金〉の分野では〔問－7〕偽造・盗難カード預貯金者保護法（30.16%）の1問、〈手形・小切手〉の分野では〔問－20〕特殊な裏書（29.78%）、〔問－24〕手形の善意取得（39.43%）の2問、〈融資〉の分野では〔問－34〕連帯保証（38.98%）の1問で、計4問でした。

このうち〔問－7〕は、偽造・盗難カード等を用いて行われた預貯金の不正な払戻し等について問うものでした。偽造カードによる払戻しについては、民法478条に定める債権の準占有者に対する弁済の規定は適用されませんが（偽造・盗難カード預貯金者保護法3条）、盗難カードによる払戻しについては、民法478条の適用を排除する規定はなく、同条は適用されます。過去に類題も出題されていますので、問題解説集等を活用して知識の見直しを図ってください。

■ 財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数7,985名中受験者は6,133名で、合格者は1,561名でした。合格率は25.45%、平均点は46.48点で、ともに前回は上回りました。

最高点は95点で、齋藤歩さん（みずほ信託銀

行）が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題－4〕株式価値評価（企業評価額）の算出（平均点：1.50点）でした。次に低かった問題は、〔問題－10〕キャッシュ・フロー計算書の作成と分析（平均点：2.72点）でした。

〔問題－4〕株式価値評価（企業評価額）の算出は、ネットアセット・アプローチの代表的な手法である時価純資産法と、インカム・アプローチの代表的な手法であるDCF法に関する問題です。株式価値を評価する手法には、一般にネットアセット・アプローチ、インカム・アプローチ、マーケット・アプローチの3つがあります。それぞれの評価手法の特徴などを知っていれば、初出でも解答できる問題でした。

〔問題－10〕キャッシュ・フロー計算書の作成と分析は、キャッシュ・フロー計算書の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の区分を作成し、その区分の状況について分析する問題です。キャッシュ・フロー計算書は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分を問うことが多いですが、今回は「投資活動によるキャッシュ・フロー」の区分の問題ということもあり、平均点は低調でした。

一方で、〔問題－1〕修正仕訳と損益計算書の作成、〔問題－2〕外貨建金銭債権債務の貸借対照表上における円換算額、〔問題－7〕収益性諸指標による比較分析は、頻出のテーマということもあり、よく解答できていました。

〔表－4〕財務2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	212	3,400	247	721	1,766	96	90	10	26	3	21	1,393	7,985
応募比率	2.65	42.58	3.09	9.03	22.12	1.20	1.13	0.13	0.33	0.04	0.26	17.45	100.00
受験者数	189	2,758	181	511	1,444	76	71	7	19	2	13	862	6,133
受験率	89.15	81.12	73.28	70.87	81.77	79.17	78.89	70.00	73.08	66.67	61.90	61.88	76.81
合格者数	98	646	85	117	214	13	23	4	11	1	6	343	1,561
合格率	51.85	23.42	46.96	22.90	14.82	17.11	32.39	57.14	57.89	50.00	46.15	39.79	25.45
平均点	59.12	45.80	51.50	45.70	41.54	42.51	50.86	46.57	58.47	66.00	52.31	53.15	46.48
年齢	25.2	30.2	31.1	33.0	35.4	37.0	36.6	33.7	27.0	48.5	36.3	32.0	32.0
勤続年数	2.1	7.2	7.6	9.6	13.0	15.0	12.9	9.3	3.8	6.5	16.9	8.4	9.0

全体の傾向として、勘定科目欄に記載された科目を正しく記載していない、端数処理を誤っているなど、問題文の指示に沿わないミスが散見されました。

また、財務分析の問題では、算出した諸指標の数値にもとづいて、その諸指標の数値が何を意味するのか、なぜ、そのような状況が発生したのかについて、原因等を的確に判断する分析力も求められますが、数値の推移を記載しただけの答案が散見されました。

■ 税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表-5〕のとおりです。

応募者数 12,430 名中受験者は 10,615 名で、合格者は 3,810 名でした。合格率は 35.89%、平均点は 51.72 点で、前回（2018 年 3 月）に比べて、合格率は 8.03 ポイント上回り、平均点も 4.71 点上回りました。

最高点は 98 点で、菊地まゆみさん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈所得税〉の分野では、〔問-4〕金融（類似）商品の収益に対する課税、〔問-15〕所得の損益通算、〔問-20〕納付所得税額の計算の 3 問、〈相続税・贈与税〉の分野では、〔問-22〕相続税の課税価格の合計額の計算、〔問-26〕死亡保険金にかかる非課税限度額の計算、〔問-33〕貸家建付地の評価額の計算、〔問-36〕事業承継税制、〔問-38〕

相続時精算課税にかかる贈与税額の計算の 5 問、〈法人税〉および〈その他の税金〉の分野ではありませんでした。

正解率が低くなった問題のなかには、テーマ自体が頻出であっても、細かい論点が初出というものがありませんでした。学習の際に、過去問題を解くだけでなく、周辺の知識もあわせて確認することが、高得点の獲得につながります。

■ 証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおりです。

応募者数 1,159 名中受験者は 973 名で、合格者は 301 名でした。合格率は 30.94%、平均点は 50.53 点で、ともに前を下回りました。

最高点は 88 点で、栗原滋さん（大阪シティ信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問-2〕金融商品取引法の定義規定、〔問-8〕日本証券業協会の諸規則等、〔問-14〕金融商品仲介業、〔問-45〕個人の有価証券運用に係る税制、〔問-48〕コーポレートガバナンス・コードが会社に求める事項、の 5 問でした。

証券業務、証券発行市場、証券流通市場の各分野ともに、例年同様に難度が高い内容や新規の出題も含まれていましたが、全般的な得点状況が良好な受験者は十分に対応できていたようです。また、〈資金調達・運用、その他〉の分野では、会社法関連の知識、金融商品に関する会計基準、関

〔表-5〕 税務3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	104	4,582	479	1,164	2,379	426	1,084	139	132	6	137	1,798	12,430
応募比率	0.84	36.86	3.85	9.36	19.14	3.43	8.72	1.12	1.06	0.05	1.10	14.47	100.00
受験者数	94	4,102	359	996	2,101	339	997	120	88	6	118	1,295	10,615
受験率	90.38	89.52	74.95	85.57	88.31	79.58	91.97	86.33	66.67	100.00	86.13	72.02	85.40
合格者数	45	1,606	150	297	607	69	314	51	38	3	53	577	3,810
合格率	47.87	39.15	41.78	29.82	28.89	20.35	31.49	42.50	43.18	50.00	44.92	44.56	35.89
平均点	58.09	52.96	54.38	49.46	48.79	45.68	49.99	53.00	55.70	58.00	56.63	55.11	51.72
年齢	25.8	26.5	27.2	27.9	29.2	32.4	33.8	27.8	37.6	27.3	38.0	30.7	28.8
勤続年数	2.3	3.6	3.4	5.4	6.6	9.5	10.9	3.8	10.0	4.4	16.6	7.3	5.8

連税制など、比較的難度の高い論点が多く問われますが、今回の得点状況は例年より向上していました。

受験にあたっては、問題解説集の学習だけでなく、基本書となる参考書の通読や経済情報誌等を細目にチェックすることで知識の拡充を図ることが高得点につながります。

■ 外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表-7〕のとおりです。

応募者数 2,807 名中受験者は 2,386 名で、合格者は 1,355 名でした。合格率は 56.79%、平均点は 60.48 点で、ともに前回（2018 年 3 月）を上回りました。

最高点は 98 点で、平田佳子さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問-5〕外国為替手形に適用される法律等、〔問-36〕支

払又は支払の受領に関する報告書、〔問-37〕外為法上の本人確認、〔問-38〕国外送金等調書提出制度、〔問-41〕外為法上の経済制裁措置等、の 5 問でした。

今回の試験では正解率 30% 以下の問題は「貿易外取引」の分野のものが多かったのですが、試験後に実務に役立つ観点からも、分野に偏りなく学習し、知識を確実に習得することが求められます。

■ 預かり資産アドバイザー2級

「預かり資産アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-8〕のとおりです。

応募者数 1,410 名中受験者は 1,223 名で、合格者は 766 名でした。合格率は 62.63%、平均点は 62.04 点で、前回に比べて合格率は 15.90 ポイント上回り、平均点は 4.82 点上回りました。

最高点は 91 点で、中山剛志さん（横浜銀行）、平安山千恵さん（個人申込）の 2 名が個人最優秀

〔表-6〕証券3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	13	495	79	63	89	14	125	11	11	19	1	239	1,159
応募比率	1.12	42.71	6.82	5.44	7.68	1.21	10.79	0.95	0.95	1.64	0.09	20.62	100.00
受験者数	10	431	62	48	78	11	119	9	10	16	1	178	973
受験率	76.92	87.07	78.48	76.19	87.64	78.57	95.20	81.82	90.91	84.21	100.00	74.48	83.95
合格者数	4	114	21	7	19	2	55	3	5	8	0	63	301
合格率	40.00	26.45	33.87	14.58	24.36	18.18	46.22	33.33	50.00	50.00	0.00	35.39	30.94
平均点	53.20	49.59	52.00	45.04	47.41	51.27	54.77	48.22	54.80	58.13	26.00	51.46	50.53
年齢	31.2	31.7	27.7	32.5	36.7	29.7	31.4	41.7	38.3	29.1	53.0	35.2	32.6
勤続年数	8.2	8.3	4.4	10.4	12.9	7.5	7.6	15.2	12.4	3.5	35.0	9.1	8.6

〔表-7〕外国為替3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	256	1,326	11	222	261	1	3	3	2	0	2	720	2,807
応募比率	9.12	47.24	0.39	7.91	9.30	0.04	0.11	0.11	0.07	0.00	0.07	25.65	100.00
受験者数	242	1,150	9	196	231	0	2	3	0	0	1	552	2,386
受験率	94.53	86.73	81.82	88.29	88.51	0.00	66.67	100.00	0.00	0.00	50.00	76.67	85.00
合格者数	179	608	9	82	110	0	1	2	0	0	1	363	1,355
合格率	73.97	52.87	100.00	41.84	47.62	0.00	50.00	66.67	0.00	0.00	100.00	65.76	56.79
平均点	66.29	59.22	73.11	54.34	57.79	0.00	61.00	71.33	0.00	0.00	62.00	63.61	60.48
年齢	24.5	30.0	34.0	28.7	35.2	0.0	31.0	27.0	0.0	0.0	49.0	29.3	29.7
勤続年数	1.5	7.3	8.8	5.4	12.2	0.0	10.5	4.7	0.0	0.0	10.0	5.3	6.6

賞を受賞されました。

〈業務知識〉においては、正解率が30%以下となった問題が〔問－20〕保険募集における情報提供義務、〔問－24〕コンプライアンスの2問でした。

〈技能・応用〉では平均点が5点を下回った問題はありませんでした。各問題とも基本的な事項をたずねていたためか、しっかりと理解していた方には解答しやすかったものと推察できます。

今回は日ごろの学習の成果がいかに発揮された結果、〈技能・応用〉が高い平均点となり、合格率も高いものとなりました。この学習の成果を、預かり資産のアドバイスに活かしていただきたいと思います。

■年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数8,802名中受験者は7,425名で、合格

者は2,644名でした。合格率は35.61%、平均点は49.78点で、ともに前回は若干下回りました。

最高点は100点で、砂川康夫さん（城北信用金庫）、保坂恵さん（山梨県信用農業協同組合連合会）、山元まゆみさん、朝比奈秀さん、長尾真樹さん、内山知則さん（以上、個人申込）、の6名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－15〕老齢基礎年金の合算対象期間、〔問－20〕65歳以上の在職老齢年金、〔問－28〕ねんきん定期便、〔問－31〕老齢基礎年金の受給資格期間、の4問でした。

〔問－15〕は、定番のテーマですが、これまで文章問題であったものを穴埋め式問題で出題したことから、戸惑いがあったと思われます。

〔問－20〕は、前回初めて出題をしたテーマであることから、まだ十分な理解がされていなかったと思われます。

〔問－28〕は、これまではおおむね良好な正解

〔表－8〕預かり資産アドバイザー2級

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	10	920	1	141	154	3	15	40	0	3	1	122	1,410
応募比率	0.71	65.25	0.07	10.00	10.92	0.21	1.06	2.84	0.00	0.21	0.07	8.65	100.00
受験者数	10	822	1	115	138	1	14	34	0	2	1	85	1,223
受験率	100.00	89.35	100.00	81.56	89.61	33.33	93.33	85.00	0.00	66.67	100.00	69.67	86.74
合格者数	5	555	0	59	59	1	9	18	0	2	1	57	766
合格率	50.00	67.52	0.00	51.30	42.75	100.00	64.29	52.94	0.00	100.00	100.00	67.06	62.63
平均点	59.50	63.63	58.00	57.86	55.57	64.00	63.79	61.56	0.00	67.50	65.00	62.87	62.04
年齢	39.9	34.6	46.0	35.6	36.9	34.0	38.2	34.1	0.0	30.5	38.0	36.3	35.1
勤続年数	10.4	11.3	0.0	11.9	13.7	0.0	12.8	11.3	0.0	10.5	19.0	11.9	11.7

〔表－9〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	26	911	5	149	1,057	343	1,279	84	76	2	1,860	3,010	8,802
応募比率	0.30	10.35	0.06	1.69	12.01	3.90	14.53	0.95	0.86	0.02	21.13	34.20	100.00
受験者数	23	754	4	127	955	298	1,179	66	44	2	1,667	2,306	7,425
受験率	88.46	82.77	80.00	85.23	90.35	86.88	92.18	78.57	57.89	100.00	89.62	76.61	84.36
合格者数	10	203	3	27	272	56	262	33	21	1	481	1,275	2,644
合格率	43.48	26.92	75.00	21.26	28.48	18.79	22.22	50.00	47.73	50.00	28.85	55.29	35.61
平均点	54.43	44.78	64.50	41.57	45.83	39.37	41.71	54.33	53.82	62.00	46.52	61.03	49.78
年齢	41.6	32.8	39.3	33.5	33.5	33.0	33.3	33.7	33.5	43.5	37.8	42.3	37.1
勤続年数	18.4	9.2	21.0	10.4	11.0	10.4	10.3	8.4	9.1	21.5	15.3	14.6	12.4

率であったことから、意外な結果となりました。

〔問－31〕は、これまでの試験でも低い正解率となることの多いテーマで、そのとおりの傾向となりました。

今回の試験は、標準的な合格率にもかかわらず、正解率が30%以下となった問題が少なく、受験者の方がまんべんなく学習をしていることが現れました。今後も苦手分野がないように学習をしていただきたいと思います。

■ 相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数7,509名中受験者は6,542名で、合格者は1,619名でした。合格率は24.75%、平均点は48.31点で、前回（2018年3月）に比べて、低調な結果となりました。

最高点は98点で、山形早苗さん（中国銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－5〕遺留分、〔問－9〕不動産登記制度および名義変更手続き、〔問－10〕相続税の納税義務者と課税対象、〔問－16〕相続税の税額控除、〔問－18〕贈与税の暦年課税と相続時精算課税、〔問－35〕顧客本位の業務運営に関する原則、〔問－40〕改正事業承継税制、〔問－45〕遺産分割協議前の相続預金の払戻し、の8問でした。

前回試験と比べると低調な結果となりました。出題内容の水準自体は前回試験との差はありません

が、問題によっては選択肢が過去問題にない新規の論点が含まれていたり近年の判例変更に関連する出題も含まれていたため、正確な知識がないと正答に至らなかった受験者も少なからずいたようです。受験に際しては、問題解説集だけでなく基本書となる参考書・通信講座等を副読本としながら、知識を深めることが望まれます。

■ 保険販売3級

「保険販売3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数1,342名中受験者は1,200名で、合格者は560名でした。合格率は46.67%、平均点は56.78点で、ともに前回は上回りました。

最高点は88点で、渡辺真理子さん（第四銀行）、宇都宮夕莉さん（伊予銀行）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－5〕告知義務、通知義務、〔問－6〕クーリング・オフ、〔問－8〕少額短期保険、〔問－10〕消費契約法、〔問－27〕地震保険料の割引制度、〔問－36〕損害保険代理店の自己契約・特定契約、〔問－46〕情報提供義務、の7問でした。

〔問－5〕〔問－6〕〔問－27〕は、定番もしくはよく出題しているテーマであることから、やや意外な結果となりました。

〔問－8〕〔問－10〕〔問－36〕は、初出もしくはそれに準じるほど出題をしていなかったテーマであることから、難度が高かったといえます。

〔表－10〕 相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	64	1,295	28	205	844	180	1,444	77	6	29	1,584	1,753	7,509
応募比率	0.85	17.25	0.37	2.73	11.24	2.40	19.23	1.03	0.08	0.39	21.09	23.35	100.00
受験者数	61	1,104	23	172	753	168	1,358	67	5	26	1,452	1,353	6,542
受 験 率	95.31	85.25	82.14	83.90	89.22	93.33	94.04	87.01	83.33	89.66	91.67	77.18	87.12
合格者数	19	235	15	29	164	26	267	20	1	6	368	469	1,619
合 格 率	31.15	21.29	65.22	16.86	21.78	15.48	19.66	29.85	20.00	23.08	25.34	34.66	24.75
平均点	52.16	47.98	63.13	46.52	47.64	44.30	45.60	50.93	46.00	45.08	48.36	51.87	48.31
年 齢	40.0	35.6	43.4	34.3	38.3	36.1	36.9	38.4	48.6	45.0	40.2	40.9	38.4
勤続年数	13.1	12.5	17.9	11.5	15.8	13.7	14.3	12.6	26.8	17.4	16.4	14.3	14.5

上記6問のうち、4問は「基本知識」に含まれるものです。「基本知識」では、やや広い範囲の知識が要求されますので、答えにくかったものと思われます。しかし、全体としては好成績で、受験者の方がよく学習をされていた結果が表れました。

● 営業店管理 I

「営業店管理 I」の成績結果は、〔表-12〕のとおりです。

応募者数 1,961 名中受験者は 1,678 名で、合格者は 605 名でした。合格率は 36.05%、平均点は 57.06 点で、前回と比べて合格率は 1.76 ポイント上回り、平均点は 0.97 点上回りました。

最高点は 77 点で、日下幸子さん（関西アーバン銀行）、中野佳織さん（個人申込）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

10 題中、平均点が 5 点を下回ったのは、【経営関連一般常識】の分野で出題した〔問題-10〕

休眠預金等活用法の 1 題でした。

本種目は、次年度から「営業店マネジメント I」として、リニューアルします（19 頁参照）。「営業店管理 I」とレベル感は同様ですが、「マネジメント」の様々な課題をどのように捉え実行に移して行くか等が問われます。学習のポイントを絞りにくい面がありますが、通常の業務等に即した出題となっていますので、近時の関連情報をブラッシュアップするとともに、深く考察することが、答案作成に役立ちます。

● 営業店管理 II

「営業店管理 II」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数 2,617 名中受験者は 2,351 名で、合格者は 1,355 名でした。合格率は 57.64%、平均点は 60.30 点で、前回と比べて合格率は 6.93 ポイント上回り、平均点も 0.98 点上回りました。

最高点は 84 点で、小久保厚さん（商工組合中

〔表-11〕 保険販売 3 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	22	923	0	54	126	2	18	4	7	0	0	186	1,342
応募比率	1.64	68.78	0.00	4.02	9.39	0.15	1.34	0.30	0.52	0.00	0.00	13.86	100.00
受験者数	21	843	0	49	109	0	14	4	7	0	0	153	1,200
受験率	95.45	91.33	0.00	90.74	86.51	0.00	77.78	100.00	100.00	0.00	0.00	82.26	89.42
合格者数	10	418	0	16	36	0	6	2	6	0	0	66	560
合格率	47.62	49.58	0.00	32.65	33.03	0.00	42.86	50.00	85.71	0.00	0.00	43.14	46.67
平均点	59.33	57.79	0.00	54.49	51.85	0.00	57.43	59.50	65.14	0.00	0.00	54.60	56.78
年齢	33.9	31.8	0.0	32.4	36.6	0.0	34.6	31.5	38.9	0.0	0.0	34.9	32.8
勤続年数	8.7	9.0	0.0	10.7	13.0	0.0	10.3	8.5	17.0	0.0	0.0	12.9	9.9

〔表-12〕 営業店管理 I・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	73	1,021	1	304	275	14	5	34	0	0	0	234	1,961
応募比率	3.72	52.07	0.05	15.50	14.02	0.71	0.25	1.73	0.00	0.00	0.00	11.93	100.00
受験者数	64	875	1	271	247	12	4	24	0	0	0	180	1,678
受験率	87.67	85.70	100.00	89.14	89.82	85.71	80.00	70.59	0.00	0.00	0.00	76.92	85.57
合格者数	27	314	1	95	83	5	1	12	0	0	0	67	605
合格率	42.19	35.89	100.00	35.06	33.60	41.67	25.00	50.00	0.00	0.00	0.00	37.22	36.05
平均点	58.78	56.93	64.00	57.43	56.49	57.17	56.25	57.88	0.00	0.00	0.00	57.19	57.06
年齢	42.1	41.7	34.0	43.2	43.0	43.8	48.0	37.6	0.0	0.0	0.0	42.5	42.2
勤続年数	19.0	18.2	12.0	19.5	20.1	20.9	21.0	12.9	0.0	0.0	0.0	18.0	18.7

央金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、〈四択択一式〉と〈記述式〉で構成されています。

〈四択択一式〉で正解率が30%以下となった問題は2問ありました。また、〈記述式〉では、6題の各平均点は、2題が6点台、3題が5点台、1題が4点台でした。

〈四択択一式〉で正解率が30%以下の問題が少なかったことと、〈記述式〉の平均点が5点台であったことが、合格率・平均点ともに前回を上回った要因と考えられます。

本種目は、次年度から「営業店マネジメントⅡ」としてリニューアルします(19頁参照)。「営業店管理Ⅱ」とレベル感は同様ですが、出題範囲等が一部変更されます。出題範囲が多岐にわたり、学習のポイントを絞りにくい面がありますが、過去の出題傾向を参考にするとともに、新たに追加されるテーマについて、計画的に学習を進めてください。

■事業承継アドバイザー3級

「事業承継アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数2,511名中受験者は2,199名で、合格者は862名でした。合格率は39.20%、平均点は54.27点で、前回に比べて、合格率は6.19ポイント上回り、平均点は0.38点上回りました。

最高点は95点で、寺口僚平さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-5〕株式会社の意思決定、〔問-8〕定款の記載事項、〔問-20〕信用保証協会における経営者保証の取扱い、〔問-23〕法務デューデリジェンス、〔問-34〕事業譲渡にかかる意思決定、の5問でした。

事業承継に関しては、関連する法改正や税制改正が毎年のように行われています。また、支援制度も年々拡充されています。これらの新しい情報に常に目を向けることが、本種目の学習、さらに

〔表-13〕 営業店管理Ⅱ・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都 特	銀 地	銀 信	託 第	二 地	銀 信	金 信	組 信	連 農	協 農	労 金	生 損	保 保	証 券	郵 政	他 個	団 体	人 全	体
応募者数	14	850	0	312	556	68	84	430	0	0	0	303	2,617						
応募比率	0.53	32.48	0.00	11.92	21.25	2.60	3.21	16.43	0.00	0.00	0.00	11.58	100.00						
受験者数	14	774	0	288	512	61	69	379	0	0	0	254	2,351						
受験率	100.00	91.06	0.00	92.31	92.09	89.71	82.14	88.14	0.00	0.00	0.00	83.83	89.84						
合格者数	10	501	0	169	280	21	18	194	0	0	0	162	1,355						
合格率	71.43	64.73	0.00	58.68	54.69	34.43	26.09	51.19	0.00	0.00	0.00	63.78	57.64						
平均点	63.14	61.80	0.00	60.66	59.56	56.66	51.99	59.28	0.00	0.00	0.00	61.33	60.30						
年齢	43.8	36.0	0.0	39.4	38.4	42.8	44.9	39.0	0.0	0.0	0.0	36.8	38.0						
勤続年数	22.4	12.5	0.0	16.0	15.4	18.7	22.6	15.2	0.0	0.0	0.0	12.8	14.5						

〔表-14〕 事業承継アドバイザー3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都 特	銀 地	銀 信	託 第	二 地	銀 信	金 信	組 信	連 農	協 農	労 金	生 損	保 保	証 券	郵 政	他 個	団 体	人 全	体
応募者数	200	658	9	175	1,101	85	20	0	1	0	13	249	2,511						
応募比率	7.96	26.20	0.36	6.97	43.85	3.39	0.80	0.00	0.04	0.00	0.52	9.92	100.00						
受験者数	189	553	8	152	1,004	66	16	0	1	0	9	201	2,199						
受験率	94.50	84.04	88.89	86.86	91.19	77.65	80.00	0.00	100.00	0.00	69.23	80.72	87.57						
合格者数	147	277	7	62	232	9	10	0	0	0	5	113	862						
合格率	77.78	50.09	87.50	40.79	23.11	13.64	62.50	0.00	0.00	0.00	55.56	56.22	39.20						
平均点	66.50	58.10	68.75	55.51	48.72	46.24	59.00	0.00	56.00	0.00	60.44	60.39	54.27						
年齢	34.8	35.4	38.0	40.6	40.7	41.7	39.4	0.0	58.0	0.0	44.9	40.5	38.9						
勤続年数	11.5	12.5	12.6	12.2	17.7	16.9	16.6	0.0	37.0	0.0	20.2	15.0	15.2						

は実務に役立ちます。

■ 事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数3,587名中受験者は3,229名で、合格者は1,329名でした。合格率は41.16%、平均点は56.39点で、ともに前回(2018年6月)より下回りました。

最高点は86点で、小西正英さん(商工組合中央金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問-11〕バリューチェーン、〔問-15〕クロスSWOT分析、〔問-18〕4C、〔問-19〕コンサルティング機能の発揮、〔問-24〕REVICの業務、〔問-25〕事業計画書の作成、〔問-

-35〕経営改善、〔問-44〕キャッシュ・フローの改善提案、の8問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-4〕日本型金融排除、〔問-6〕顧客との共通価値の創造、〔問-7〕監督指針、〔問-26〕取引先が属する業界の理解(宿泊・観光)、〔問-28〕動産担保の活用、〔問-38〕M&A、〔問-39〕事業承継ガイドライン、〔問-41〕SWOT分析、〔問-47〕金融機関による知財ビジネス評価書の活用、の9問でした。

正解率が30%以下の問題は概ね、取引先の属する業界や環境の分析、または取引先自体の分析をする際に必要な知識を問うた問題です。実際に取引先と対話する際に必要となる知識ですので、しっかりと身につけ、実務の際にも応用できるようにしてください。

〔表-15〕 事業性評価3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	295	1,044	2	258	1,267	224	169	3	4	1	6	314	3,587
応募比率	8.22	29.11	0.06	7.19	35.32	6.24	4.71	0.08	0.11	0.03	0.17	8.75	100.00
受験者数	285	929	2	230	1,151	198	163	2	4	1	6	258	3,229
受 験 率	96.61	88.98	100.00	89.15	90.84	88.39	96.45	66.67	100.00	100.00	100.00	82.17	90.02
合格者数	243	467	0	70	315	34	56	0	2	0	2	140	1,329
合 格 率	85.26	50.27	0.00	30.43	27.37	17.17	34.36	0.00	50.00	0.00	33.33	54.26	41.16
平 均 点	67.12	58.71	47.00	52.43	53.17	50.67	54.42	49.00	64.50	50.00	49.00	59.88	56.39
年 齢	35.5	32.6	27.0	33.4	37.8	37.4	40.8	41.0	45.0	46.0	46.7	36.6	35.8
勤続年数	12.5	9.9	3.0	10.5	15.5	14.2	18.2	18.0	21.3	0.0	25.6	13.1	13.0

